

# Funehiki High School News vol.192

## ～がんばる船高生～ **ATTENTION!**

### 第72回 みゅ〜じっくらぼ (音楽同好会) 第2弾!

今回のがんばる船高生は、第36回全日本マーチングコンテスト東北大会ビッグナー部門で、銀賞を受賞した、みゅ〜じっくらぼ (音楽同好会) 吹奏楽班のメンバーである佐藤実穂さん (2年、船引中)、高橋菜葉さん (2年、同)、大内桃花さん (2年、三春中) の3人に話を伺いました。

—吹奏楽班のメンバーについて教えてください。

大内さん 8人で活動しています。楽器の編成はフルート、トランペット (2人)、クラリネット、サクソ、チューバ、打楽器 (2人)。音楽を一緒に楽しむ仲間を募集しています。

—顧問の先生はどんな方ですか。

高橋さん 太陽のように輝いていて、エネルギッシュな佐藤輝彦先生、月のように優しく見守ってくださっている遠藤歩先生と、対照的な2人の先生方にご指導いただいています。

—どのような活動を行ってききましたか。

佐藤さん 昨年度は校内の文化祭をはじめ、うすい百貨店で行われたクリスマスコンサートや田村市で行われたバンドフェスティバルに参加しました。本年度は吹奏楽コンクールやマーチングコンテストに出場しました。また12月9、10の両日、須賀川市で行われるアンサンブルコンテストに出場する予定です。

高橋さん 吹奏楽以外にも活動の場を広げ、合唱にも挑戦しています。11月4日には、第69回田村市船引地区文化祭「第46回秋のコンサート」に合唱で出演し、「どこまでも〜How Far I'll Go」、「リメンバー・ミー」の2曲を演奏しました。

—マーチングコンテストに出場した感想を教えてください。

佐藤さん 練習では直前まで納得のいく演奏演技ができずに苦しかったのですが、本番に向けて試行錯誤を重ね、自身の演奏に向き合いました。東北大会まで駒を進め、本番は今まで一番いい演奏演技ができたと思います。初心者の部員も多い中で銀賞を受賞し、自信もつき、大きく成長できたと実感しています。そして、メンバーの絆がより深まったと感じています。

—演奏をするときに心がけていることは何ですか。

大内さん 一度注意されたことを再び注意されないように気を付けています。そのため、楽譜は書き込みだらけです。また、周囲の人や与えられた環境に感謝して活動するとともに、物を大切に扱って生活することも心がけています。

—今後、チャレンジしてみたいことは何ですか。

佐藤さん 吹奏楽を主な活動としていますが、さまざまな音楽を通して純粋に音楽を楽しんでいきたいです。船引高校は8年度に小野高校と統合し、新しい学校になります。船高生として活動できるうちに、多くの実績を残し、後輩たちにも受け継いでいきたいです。そして、たくさんの人と音楽の和を奏でていきたいです。



マーチングコンテスト終演後  
(青森市にて)



高橋菜葉さん(左)、大内桃花さん(中央)、佐藤実穂さん(右)

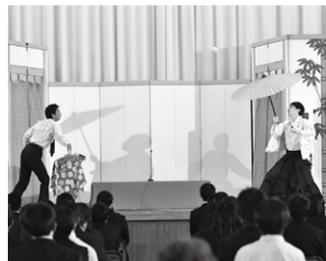
## ◆芸術鑑賞会

11月1日、本校第一体育館で芸術鑑賞会が行われました。本年度は「学校寄席」という演題で一龍齋貞友様、柳貴家雪之介様、柳家喬之助様の3人にお越しいただきました。講談・色物 (太神楽曲芸)・落語の3種類の演目が行われ、見事な芸を披露してくださいました。

生徒は「古典芸能をもっと詳しく知りたい」、「実際に寄席の場を訪れて観劇したい」と、芸術の世界との出会いに感銘を受けていました。



落語を披露する柳家喬之助様



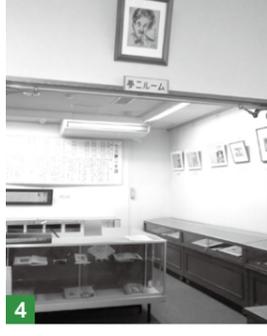
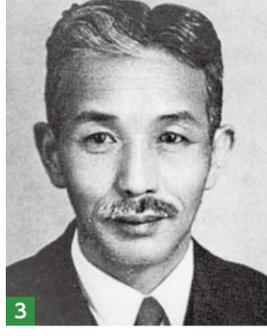
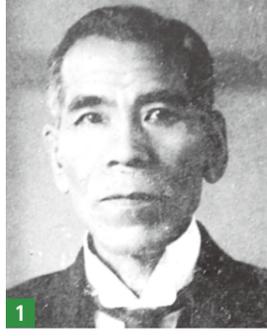
曲芸を披露する柳貴家雪之介様



# 田村市の文化財

## 『田村市初の衆議院議員 菅村太事』

岡教育部生涯学習課 81・1215



衆議院議員総選挙の第1回は今年から133年前の明治23(1890)年7月に行われました。福島県からは7人が当選し、その中に三春出身の河野広中(以下、河野)がいました。河野は戊辰戦争後、自由民権思想に目覚め、福島県議会、国会へと活躍の場を移し、第1回から第14回まで連続当選し、衆議院議長などを歴任しました(河野は明治6(1873)年に常葉戸長を務めました)。

その河野の影響を受けて自由民権運動に参加した田村市の若者たちがいました。菅村太事(以下、菅村。1863〜1934)はそのうちの一人です。菅村は北鹿又村(現・船引町北鹿又)に生まれ、10代の頃より自由民権運動に参加して活動しました。美山村会議員、美山村長、福島県会議員となり、河野が死去すると後継者として大正13(1924)年5月に行われた第15回衆議院議員総選挙に立候補し当選します。ここに田村市初の衆議院議員が誕生しました。菅村は第17回まで3期連続で当選を果たします。菅村の功績をたたえる顕彰碑が美山小学校の登り口に建っています。

なお、菅村に続いて衆議院議員になった人物に助川啓四郎(以下、助川。1887〜1943)がいます。助川は片曾根村(現・船引町船引)に生まれ、14歳で上京。早稲田中学に入学し、早稲田実業学校、早稲田大学へと進みます。帰村して大正4(1915)年、28歳の時に片曾根村長に就任しました。その後、福島県議会議員となり、昭和5(1930)年2月に行われた第17回衆議院議員総選挙に立候補し補欠当選します。助川は第21回まで5期連続で当選を果たしますが、議員任期中の昭和18(1943)年に満州に向かう途中、玄界灘で遭難し、その生涯を終えました。余談ですが、この助川には早稲田実業学校からの旧友として竹久夢二(以下、夢二)がいました。夢二は数多くの美人画を描き、その作品は「夢二式美人画」とも呼ばれ、また児童雑誌の挿絵やデザイナーとしても活躍した大正ロマンを代表する画家の一人です。その夢二が大正10(1921)年と昭和5年の2回、助川を船引町に訪ね、画会を開催しています。「2人の出会いの心を大切に、文化の窓を広げたい」という目的で、昭和55(1980)年に市図書館の2階に「夢二ルーム」を設け、夢二の書画や書籍などとあわせて助川の関連資料なども展示しています。

- 1 菅村太事
- 2 菅村太事先生之碑
- 3 助川啓四郎
- 4 夢二ルーム

次回は「坂上田村麻呂①」を紹介する予定です。  
田村市の文化財一覧はこちら▶▶▶



広告欄 Advertisement

# 有料広告募集中

問い合わせ…総務部 総務課 (☎0247-81-2117)へ